

ITEA 2027 TOKYO

Annual School & Conference | 東京大会 開催案内

【会期】2027 年 8 月 9 日(月) ~ 13 日(金) | 【会場】東京大学 本郷キャンパス

交通経済学の世界的フラッグシップ大会が、日本で初開催！

世界中からトップ研究者が東京に集結。最新の研究成果と未来の交通政策を議論します。

✳️ 若手研究者（PhD 学生・ポスドク・若手教員）の皆様へ

- 世界のトップランナーと直接対話：第一線の交通経済学者から直接アドバイスを受け、国際共同研究のパートナーを見つける絶好の機会です。
- リラックスしたネットワーキング：コーヒープレイクや各種ディナーでカジュアルに交流（ポロシャツ、チノパン・ジーンズ、ノーネクタイ等のスマートカジュアル歓迎）。
- 注目の学会賞（Conference Awards）：優れた成果をたたえる 2 つの学会賞を準備。

🏆 Best Paper by a Junior Researcher Prize（若手研究者最優秀論文賞）

🏆 Best Overall Paper Prize（最優秀論文賞）

📅 ITEA Summer School 2027 年 8 月 9 日(月) ~ 11 日(水)

【対象】博士課程学生・若手研究者

【内容】世界の第一人者による集中講義。理論・実証・政策評価の最新手法を学び、講師陣や同世代の研究者と深く議論する 3 日間。

【講師】人選中。2026 年大会では、Jonathan Hall、Leonardo Basso、Erik Verhoef、Stef Proost、Maria Börjesson、Stefanie Peer、Mogens Fosgerau、Ricardo Flores-Fillol

🏢 ITEA Annual Conference 2027 年 8 月 11 日(水) ~ 13 日(金)

最先端の論文発表セッション、基調講演、個別テーマ分科会。交通経済学の先端領域をカバーする本格的国際カンファレンス。

【基調講演登壇者】人選中。過去には、Joan Walker、Dave Donaldson、Joseph Stiglitz、Jonas Eliasson、Diego Puga、Masahisa Fujita、Jacques-Francois Thisse、Moshe Ben-Akiva、Edward Glaeser、Jean Tirole

【主な討論テーマ・対象領域】

航空・空港；混雑・道路料金政策；公共交通・MaaS・新モビリティ；海運・港湾；交通行動分析；インフラ投資・財政；脱炭素・グリーン交通；都市・地域・空間経済学；物流

後援：日本交通学会

公式 Web サイト：<https://itea.science/2026/08/20/join-us-in-tokyo-for-itea-2027-aug-16-20/>

ITEA 2027 国内実行委員会 (Local Organizing Committee)

委員長：福田 大輔（東京大学）

委員：壇辻 貴生（早稲田大）、福井 秀樹（愛媛大）、伊藤 亮（東北大）、城所 幸弘（GRIPS）、河野 達仁（東北大）、円山 琢也（熊本大）、文 世一（同志社大）、大澤 実（京都大）、高山 雄貴（東京科学大）、田邊 勝巳（慶應大）

ITEA とは

International Transportation Economics Association
(ITEA) は **2010** 年に創立。



Annual School と Annual Conference を毎年開催し、国際誌を発刊。

会長：Achim I. Czerny

歴代会長：Kenneth Small (2010–14)、Robin Lindsey (14–16)、Jan K. Brueckner (16–18)、Marc Ivaldi (18–20)、Sergio Jara-Díaz (20–22)、Maria Börjesson (22–24)、Erik Verhoef (24–26)。

公式ジャーナル：Economics of Transportation



Elsevier より 2012 年創刊。

交通経済学の理論・実証・政策に関する最新の研究論文を掲載する専門誌です。

Co Editors-In-Chief

R. Flores-Fillol, (Rovira i Virgili University)

P. Gagnepain, (University Paris 1 Panthéon-Sorbonne)

ジャーナル Web サイト



学会 Web サイト

